

# CAMD 報告会

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

## 危険因子も踏まえたアルツハイマー病の 治療標的の同定と治療薬の開発

分子基盤研究部 標的治療薬開発室

篠原 充 室長

2020年6月11日(木) 16時00分～

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、Web 配信とします。  
参加方法については、メールまたは回覧等で事前にご案内します。

アルツハイマー病に対してアミロイド $\beta$ やタウに対する治療薬の臨床治験が行われているが、頓挫している治験も多く、今後の予防・治療戦略についてはまだまだ不明である。そこで我々は同研究部の里直行部長の指揮の下、疾患の原因と考えられるアミロイド $\beta$ やタウとともに APOE や糖尿病などの危険因子にも着目し、剖検脳や、動物モデル、臨床データ、細胞モデルを基に、病態の理解や治療標的の同定、治療薬開発をすすめている。本報告会では、これまでに得られたデータとともに今後の研究計画について紹介、討議したい。